

履修の流れ

日本語教育実践領域

※ 科目の開講学期は変更になる場合があります。

「登録日本語教員養成機関」に対応し、カリキュラムの変更が今後予定されています。当パンフレットは変更前のカリキュラムを表示しております。最新情報はウェブサイトでご確認ください。

※ ()内のアルファベットは必修または選択科目を、数字は単位数を示します。(例) 3単位相当の選択必修科目であれば「RE3」と記されています。

R=必修科目 RE=選択必修科目 E=選択科目

3領域共通科目 6単位以上履修

- GCS600 (RE3) グローバル・コミュニケーション概論
- GCS601 (RE3) 言語、文化とアイデンティティ
- GCS602 (RE3) グローバル化と国際関係
- GCS607 (RE3) グローバル社会のためのアカデミック・イングリッシュ
- GCS608 (RE3) 日本学概論
(留学生のみ、日本語による開講)
- GCS609 (RE3) 異文化コミュニケーションのストラテジー
- GCS610 (RE3) 自省的職業経験考察 (GAP YEAR参加者のみ適用)
- GCS611 (RE3) 通訳技法 I



日本語教育実践領域専門科目

必修科目4科目を含む**30**単位以上履修

1年目

秋学期

- JLT601 (E3)
日本語教育初級文法 I
- JLT606 (E3)
日本語音声と音声言語教育
- JLT615 (E3)
日本語教育のための第二言語習得論
- JLT616 (E3)
日本語教育学概論
- JLT620 (E3)
外国語としての日本語教育と教授法
- JLT660 (E1)
日本語自律研究 I

冬期プログラム

- JLT614 (E3)
日本語教育初級文法 II
- JLT661 (E1)
日本語自律研究 II

春学期

- JLT602 (E3)
日本語中・上級の教育
- JLT609 (E3)
日本語教育評価法
- JLT619 (E3)
多様化する社会における日本語教育
- JLT662 (E1)
日本語自律研究 III

課外(授業外)
日本語教育活動

学内の留学生を対象とした
日本語チューター

2年目

秋学期

- JLT604 (R3)
日本語の教材・教具(教育実習)
- JLT650 (R3)
日本語教育実践計画(教育実習)
- JLT663 (E1)
日本語自律研究 IV
- JLT654 (R3)
日本語教育実践研究(リカレント教育)

冬期プログラム

- JLT651 (R3)
日本語教育実践研究(教育実習)
- JLT664 (E1)
日本語自律研究 V
- JLT653 (R3)
日本語教育修士論文(リカレント教育)

春学期

- JLT652 (R3)
日本語教育実践研究(海外教育実習)(※)と修士論文
- JLT665 (E1)
日本語自律研究 VI

2年次教育実習の流れ

秋学期

基礎的な教授能力の養成を目的とする学部留学生対象の学内模擬授業実践



冬期プログラム

海外提携大学から留学生を招いて冬期日本語・日本文化短期集中プログラムを実施



春学期

海外提携大学に出向いての授業実践と修士論文の執筆



学内の留学生を対象とした会話日本語パートナー

日本語会話テーブル

秋田市内の日本語教室で講師

他の2領域(ELT, GCP)から3科目9単位まで修了要件の単位数へ算入が可能

※実習にかかる旅費等は、学生本人の負担となります。